



吉田かよこ

平成 26 年秋・冬号

【住所】：〒151-0071 東京都渋谷区本町 6-38-6-306

☎03-3373-7167 / FAX03-3373-7165

✉kayoko@ia7.itkeeper.ne.jp

吉田かよこ プロフィール

1962 (昭和 37) 年 9 月生まれ

小学校 2 年まで仙台白百合学園小学校で学ぶ

父の転勤で、東京に戻り小学校 3 年より桐朋小学校に編入

桐朋女子中学校・高等学校卒業

日本大学工学部数学科卒業

平成元年税理士資格を取得

現在、渋谷区議会議員 吉田佳代子税理士事務所の所長でもある



平成 25 年度決算について

平成 26 年 10 月 23 日、第三回定例会が終了いたしました。今回は、決算特別委員会が設置され、平成 25 年度決算の審査も行いました。下記に決算概要と災害に関する新規事業、私が所属している都市環境委員会の審査項目のうちゴミ処理についてご報告致します。

1. 概要



平成 25 年度の一般会計歳入額は 835 億 9341 万 5904 円で、歳出額は 740 億 5271 万 9655 円でした。差引 95 億 4069 万 6249 円が次年度に繰り越されました。

前年度の歳入額は 808 億 6212 万 5777 円、歳出額は 744 億 1007 万 5646 円でしたので、歳入額は、約 27 億の増、歳出額は約 3 億 5000 万の減と言う結果でした。渋谷区の平成 25 年度の人口は約 212,000 人でしたので、一人年間 350,990 円、一人一日 961 円が必要だったことがわかります。

渋谷区では、平成 25 年度は健康日本一を目指して、スポーツ推進、子どもの体力作り、高齢者の予防介護事業、予防接種事業に力を注いでまいりました。今後も区民の皆様のご意見を伺いながら区政を進めてまいります。

2. 平成 25 年度の災害に関する新規事業

(1) 地域防災サバイバルの作成配布 3500 万円

「見やすい」「読みやすい」「手に取りやすい」デザインの防災関連マニュアルを全戸配布しました。地域防災サバイバルを全戸配布することで、防災意識や知識の共有化・強化を図り生き残るための防災を目指します。

(2) 医療救護所用資機材の配備 1200 万円

災害時には、医療救護所を区内 10 ケ所の拠点病院と併設し、トリアージ（対象者の優先度を選択し決定を行うこと）や軽傷者の治療等初期救急の機能を担う医療救護所と重傷者に対応する病院機能の役割を明確にし、医療救護所を担う拠点病院にテントなどの必要資機材（3 日分）を配備しました。

本部 1. 区民健康センター桜丘（文化総合センター大和田 1 階）

区拠点病院（8 ケ所）

2. 井上病院（富ヶ谷）
3. 内藤病院（初台）
4. クロス病院（幡ヶ谷）
5. 雙立病院（本町）
6. 東海大学付属東京病院（代々木）
7. JR 東京総合病院（代々木）
8. 伊藤病院（神宮前）
9. 代々木病院（千駄ヶ谷）

都災害指定病院（1 ケ所）

10. 日赤医療センター（広尾）

3. ごみ処理には約 29 億円が使われています



現在、ごみ収集・資源回収は約 12 億 2300 円の経費をかけて渋谷区で行っております。

そして、回収されたゴミの焼却や^{はさい}破碎を行う清掃一部事務組合に対し、分担金として、約 12 億 6000 万を支払っています。

その他、有料ゴミシールの事務費に約 3000 万円、清掃事務所の施設維持管理に約 1 億 6600 万、直営車両の関連経費として、約 4000 万円の経費がかかります。

ゴミ関連の支出を合計しますと、約 29 億円が必要となります。

渋谷区の人口は、約 21 万人ですので、ゴミを出すだけで一人一日約 38 円が必要となる計算です。

渋谷区は、ゴミ量の 3/4 は事業系ゴミで家庭ゴミは 1/4 にすぎませんが、まだまだ、可燃ゴミと不燃ゴミの中には資源ゴミとして回収できるものが含まれています。

特に可燃ゴミの中の紙類は資源ゴミとなりうるものの多く混入していますので、是非、今後も徹底したごみ分別にご協力をお願い致します。